

令和元年度 第2回上郡町地域公共交通活性化協議会 議事録

1. 日 時 令和2年2月14日（金）午後3時00分～午後4時30分

2. 場 所 上郡町役場4階 会議室

3. 出席者

会 長 : 1名
 議 長 : 1名
 委 員 : 21名
 オブザーバー : 1名
 事務局 : 3名

役 員	所 属	役 職	氏 名	備考（代理出席等）
会 長	上郡町	副町長	檜村孝一	
議 長	(一社)グローカル交流推進機構	理事長	土井勉	
委 員	(株)ウエスト神姫 業務部	部長	村上正弘	
委 員	(株)ミウラギ	代表取締役	三浦謹一郎	
委 員	(株)中村タクシー	代表取締役	中村捷也	取締役 中村 源
委 員	西日本旅客鉄道(株)近畿統括本部神戸支社	総務企画課長	秋山秀則	
委 員	智頭急行(株)	代表取締役社長	城平守朗	総務企画課長 寺坂 茂文
委 員	(株)ウエスト神姫 労働組合	委員長	井田佐登司	第2回より変更
委 員	国土交通省神戸運輸管理部兵庫陸運部	首席運輸企画専門官	岩野住之	
委 員	兵庫県西播磨県民局光都土木事務所	所長補佐	木村圭祐	
委 員	兵庫県相生警察署交通課	課長	澤田賢介	
委 員	上郡町連合自治会	会長	三浦義人	
委 員	上郡町連合自治会	副会長	中井弘一	
委 員	上郡町連合自治会	副会長	西山武彦	
委 員	上郡町高年クラブ連合会	会長	木村幸雄	
委 員	上郡町民生児童委員協議会	副会長	中川博美	
委 員	上郡町社会福祉協議会	事務局長	竹内盛一郎	
委 員	上郡町商工会	会長	大崎基弘	
委 員	上郡町議会	議長	梅田修作	副議長 立花 照弘
委 員	上郡町住民課	課長	木村将志	
委 員	上郡町産業振興課	課長	河本洋	
委 員	上郡町建設課	課長	山本正利	
委 員	上郡町教育総務課	課長	深澤寿信	
オブザーバー	兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課	副課長兼地域交通班長	三宅豊文	
事務局	上郡町企画政策課	課長	宮下弘毅	
事務局	上郡町企画政策課	主査	尾上英士	
事務局	上郡町企画政策課	主査	根来直裕	

4. 欠席者

委員：6名

事務局：1名

役員	所属	役職	氏名	備考（代理出席等）
委員	神姫バス(株)バス事業部計画課	課長	竹内 宏	
委員	介護タクシー“和”		山田 篤子	
委員	(公社)兵庫県バス協会	専務理事	水田 節男	
委員	(一社)兵庫タクシー協会 西播支部	支部長	河合 利宜	
委員	上郡町連合PTA	会長	山本 利光	
委員	上郡町健康福祉課	課長	國重 弘和	
事務局	上郡町企画政策課	係長	西山 久巳	

5. 配布資料

- ・議事次第
- ・「上郡町の交通をとりまく現状」の変更点【資料1】
- ・上郡町の交通をとりまく現状【資料2】
- ・住民アンケート調査結果（速報版）【資料3】
- ・公共交通整備方針の検討【資料4】

6. 議事内容

(1) 開会

議長：（開会挨拶）

本日、みなさまからご意見いただきたいところは、3番目の議題の公共交通整備方針についてです。

公共交通の役割は、高齢者だけでなく、学生や様々な事情で移動が困難な人たちが外出しやすいように、送迎の負担が少なくなるようにすることです。乗り継ぎも含めた円滑な移動交通を検討していくことが、今回の上郡町の公共交通の整備方針の重要な所になりますので、そのような視点も含めてご意見をいただければと思います。

(2) 第1回上郡町地域公共交通活性化協議会の資料の変更点について

議長： それでは、前回の協議会の資料からの変更点を事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

議長： ただいまの「上郡町の交通をとりまく現状」資料の修正箇所について、ご意見・ご質問があればお願いします。

議長： 質問ですが、バスの乗車人員について、路線バス、コミュニティバス、定住自立圏圏域バスのいずれも、2017年から2018年で若干増加していますが、原因・背景について何かご存じの方はおられますか。

- 委員：上郡駅から赤穂市民病院への便については、路線バス、ていじゅうろう共に利用者は増加傾向にあります。上郡駅からテクノへの路線バスは学生専用のダイヤになっており、学生の定員数などの影響で年によっては前年より増減する場合があります。
- 事務局：コミュニティバスについては、平成29年度から運転免許返納者に対して1万円の回数券を助成する取組みを行っており、その効果もあると思われます。現在では、年間で50名程度の免許返納があります。
- 委員：トリップとは、一人が一日で動いた回数のことか。複数の交通手段を利用した場合は、それぞれを1トリップとして数えるのか、資料を見る上で基本となる所なので説明いただきたい。
- 委託事業者：トリップとは人の移動の単位で、移動する目的ごとに1トリップとして数えます。例えば、一人の人が自宅から勤務先へ交通手段を乗り継いで通勤と帰宅で移動した場合は、それぞれ1トリップで合計2トリップとなります。
- 議長：例えば、一人の人が複数の交通手段を使って移動した場合、全ての手段を数えると移動量を実際よりも多く見積もってしまうため、目的ごとに1つのトリップとして数えます。また、移動に使った交通手段は「代表交通手段」として代表的なものを1つだけ集計しています。

(3) 住民アンケート調査結果について

- 議長：それでは、2つ目の議題として、住民アンケート調査の結果について事務局から説明をお願いします。
(事務局説明)
- 議長：この内容について、ご意見・ご質問があればお願いします。
- 委員：流動図のところ、「1トリップ/日未満は非表示」とありますが、1トリップに満たない移動とはどういうことでしょうか。
- 委託事業者：アンケート調査データは人口拡大を行い、また頻度によって係数を設定しています。週に数回しか移動しない人の場合、一日あたりの移動に換算すると1未満のトリップ数となる場合があります。そのような移動も多くあったため、図の見やすさを考慮して、1トリップ/日未満の少ない流動は非表示としています。
- 委員：住民アンケートの集計は速報版ということですが、今の時点で上郡町の特長な所があれば教えていただきたい。また、次のステップとしてどのような検討を行う予定か教えていただきたい。
- 委託事業者：上郡町の特長としては、車の分担率が非常に高いこと、また、移動に問題を感じている人が少ないことです。移動に問題を感じている人は、他の自治体などでは2～3割程度あるのに対して、上郡町では1割程度と少なくなっています。今後は、年齢や問題点など属性を絞った集計や、公共交通量を利用しそうな人がどれだけいるか、その人たちがどのような移動をしているかといった公共交通需要の検討を行っていきます。

- 委員：移動に問題を感じている人の行き先で、県立大学付属高校が多くなっているのは、ここに通っている人が多いということでしょうか。光都の高校は定員数が増えており、学生の送迎と思われる車もよく見かけます。また、始業時間帯にはバスの便数も多いですが、それ以外の時間帯の便も増えて、バスの利用者が増えれば、上郡町の公共交通の見直しということになるのでしょうか。
- 事務局：光都の高校に通っている人たちが、バスの便数が少ない、運賃が少し高いというような問題意識を持っているということだと考えられます。
- 委託事業者：住民アンケートの結果から、光都に通っている人で問題を感じている人が多く、見直しが必要だと思いますが、具体的な対策については、この後の公共交通の施策や町全体の交通体系の中で検討していきたいと考えています。
- 委員：住民アンケートの最終報告では自由記述欄の内容も示していただきたい。一人暮らしの高齢者世帯が700世帯を超えてきており、具体的な意見も見てみたいと思います。
- 委託事業者：自由意見については、同様の内容と取りまとめて集約したうえで提示させていただきます。
- 会長：公共交通の見直しについて、現在移動に問題を感じている1割の人を対象とするのか、先ほどの学生の送迎のような潜在的な利用者となり得る残りの9割の人を対象とするのか、検討の方向性を意識した資料作成をお願いしたい。
- 事務局：現在は車の移動に問題を感じていない人も多いと思いますので、移動に問題を感じている1割の人だけを対象とした計画の予定ではありません。
- 議長：人口拡大後のトリップで町全体の分担率を見るなど、上郡町全体の概要・傾向を把握した上で、対策が必要な人たちの問題点を抽出し、その人たちの問題を取り除くことで今は車を利用している潜在的な利用者も移動しやすくなるという流れだと分かりやすくなると思うので、資料の構成を検討していただきたいと思います。

(4) 公共交通整備方針の検討について

- 議長：住民アンケートのデータとも関係すると思いますので、議事を進めたいと思います。公共交通整備方針の検討について、事務局から説明をお願いします。
(事務局説明)
- 議長：この内容について、みなさんからのご意見ををお願いします。
- 議長：めざすべき公共交通網(例)の図はみなさんの実感と合っているのでしょうか。図中の地域公共交通がどのようなものを想定しているか、交通結節点や主核、副核はどう違うのかなど、事務局から図の説明をお願いします。
- 委託事業者：商業施設や医療機関、町役場、駅などが集まっている町の中心を「主核」として上郡町の駅周辺に設定しています。マスタープラン上で地域商業核と位置付けられている光都は主核に次ぐ機能を持つ「副核」として、智頭急行の駅を「交通結節点」、移動需要は大量ではないが地域に沿った交通が必要なエリアを「地域公共交通」として示しています。野桑については大富地区からバス軸につながり新たな交通結節点として設定しています。

- 議 長 : 赤い線が基本的に路線バス、青い線が鉄道、緑色が乗合タクシーなどの現在のコミュニティ交通として、それぞれが役割分担するイメージです。コミュニティ交通は谷筋ごとに路線を配置し、乗り換えれば姫路や赤穂など広域的な移動が可能なネットワークの提案だと思います。そうすると、乗り換えがしやすい事が重要になりますが、その点についてもご意見ありませんか。
- 事務局 : 赤松地区は鉄道軸を設定していますが、これは主な軸として示しているもので、智頭急行だけでカバーする想定ではないことを補足します。
- 委 員 : 主核は、基本的に上郡駅というイメージでしょうか。赤穂まではバス軸以外にも鉄道軸もあります。上郡駅からテクノ方面のバス軸はこのような望ましい姿になるかどうか。理想的な姿ではありますが、実際は難しいのではないかという印象です。
- 議 長 : 光都には高校生もたくさん行くので、今回の計画ではこのような路線の強化も行うという理解でよいでしょうか。上郡駅から光都へのバス軸を整備方針に加える、バス事業者との協議を重ねるという理解でよいでしょうか。
- 事務局 : 上郡駅から光都に通学できるような公共交通を目指したいと考えています。光都には企業もあるので、そこへの通勤にも使っていただける公共交通を検討していきたいと思います。
- 委 員 : 光都への路線バスは現在も通学時間に合わせて運行しています。この路線には、他にもてくてくバスや愛のり号も運行しているので、それらとあわせて公共交通のバス軸と考えていることを補足させていただきます。
- 議 長 : 計画の中でどう強化するかを明確に示していただきたいと思います。
- 委 員 : 上郡駅周辺を主核として考えると、佐用方面や三石（岡山）から上郡に買物に来やすいような仕組みもあるとよいと思いますがいかがでしょうか。
- 議 長 : 町外から人を集める広域交通の位置付けですね。地域経済の活性化にもつながると思いますが、このような視点についてはどのように検討しますか。
- 事務局 : 上郡町民の移動を基本に考えます。町外からでも鉄道で町の中心部まで来れば、駅周辺で買物ができることから、鉄道につながる町内の2次交通を充実させて、町内を移動しやすくすることが重要だと考えています。
- 議 長 : 町外から来た人も動きやすい公共交通を整備するという趣旨だと理解します。
- 委 員 : 今後、整備効果を検証するために、定量的な目標値を示した方がよいのではないのでしょうか。
- 事務局 : 今年度は整備方針案の決定までのスケジュールになっています。具体的な施策や数値目標については次年度で検討していきます。
- オブザーバー : 「過度な自動車依存」という表現が多く使われていて気になります。「過度」とはどのような状態を示しているのか、表現に工夫が必要な印象を受けます。
- 事務局 : 表現を工夫します。
- 議 長 : 上郡町の車の分担率が、近畿県全体の分担率と比べて高いといった実態の明示が必要ではないでしょうか。車の利用者も使いやすい公共交通を整備することが目的なので、車利用者に誤解を与えない表現をお願いします。
- 議 長 : 今回お示した基本方針やまちづくりの方向性、基本理念は、町民のみなさんにご理解いただき、この会議を中心に町民のみなさんと一緒に仕組みを作って

いきましょうという内容です。基本理念は、上郡町の公共交通の現況と課題、まちづくりの方向性の2つからの提案ですが、みなさんのご意見はいかがでしょうか。この内容で進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

一同：（意見なし）

議長：もし、今回の内容について気になることやご意見などがあれば、一週間以内を目安に事務局まで連絡をいただければと思います。

議長：最後に私から少しだけ。現在、上郡町の公共交通には、コミュニティバスや乗合タクシーなど様々な手段がありますが、今後、いい仕組みづくりを行う上では、それぞれの手段自体でうまく機能しているか、乗り換え・乗り継ぎがスムーズにできているかが大切になってくると思います。基本方針1、2については、乗り換え・乗り継ぎなどの一連の動きをスムーズにするように、うまく情報提供していくことも念頭において、整備方針の中に含めていただければと思います。

議長：以上で、本日の議題については全てですが、他に何かご意見などはありますか。

一同：（意見なし）

議長：事務局の方から何か連絡事項はありますか。

事務局：次回の協議会は9月頃を予定していますが、今後施策を検討している中でみなさんに集まっていただく機会もあると思いますので、よろしくをお願いします。

議長：それでは、これをもちまして議事を終了させていただきます。ありがとうございました。